



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

インターシップ事業について

新島学園高等学校 教諭 中村 圭介



陸上自衛隊りっくんランド研修



りっくんランド研修・VR体験



りっくんランド研修・集合写真

令和五年度本校で初めてインターシップ事業を立ち上げ、令和6年3月6日(水)から同年3月8日(金)の3日間実施することができました。普段味わうことの出来ない体験ばかりで勉強になることが多かったです。

自衛隊訪問は私自身初めてのことで、「日本の平和と独立を守ること」を目的とした組織の日常を垣間見ることができ、また、自衛隊の人々の日々の訓練の様子や志に触れることもでき、案内をしてくれた群馬地方協力本部高崎地域事務所の広報官を始め、多くの方々によってこのインターシップが有意義なものとなったこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

特に印象的であったのは、令和6年1月1日(月)に石川県能登地方にて起こった未曾有の大震災において、入間基地におられる自衛隊の方々が現地に向い、支援を行ったお話をお聞きしたことです。実際に「自衛隊犬」の方が倒壊している住宅から被災者を発見した話や、輸送機で能登半島の方々を救済した話をお聞きして、日本のために働いている方々の姿に感銘を受けました。現地での災害支援、交通・物流支援、医療支援、避難所支援を実施し、被災されている方々を救っために、日々訓練されている様子を見学できたことは、私の人生にとって大きなものになった。

私は、大学を卒業してから15年以上教育に携わってきました。日々日常が変化していく中で、今も昔もそうだったかも知れませんが、教育現場として「変化に対応できる能力」と、「先を予測する力」がためされ、求められることを肌で感じています。現在、在籍している生徒達が仕事を始める数年後、現在の世の中とはまた違う世界になっていること、その中でどう自分の力を発揮して世の中で評価されていくのかを、考えていきながら生徒指導、助言を行っていかねばならないということです。例えば、生成AIが世の中に出回ることにより、時間の節約、クオリティの担保や均一化など、いろいろな可能性が広がってきます。一方で、指示の難しさ、誤りの発生、独自性の欠如という問題点も指摘されています。また、情報リテラシーの部分でもフェイクニュースも多く出回ることも考えられます。このように、日々技術が進歩していく一方で、自分自身で情報を収集、集約し、取捨選択をしていく中で、その情報が正しいか否かを判断していくことが求められています。また、「大人に叱ってもらえない」Z世代が直面する「やさしさの残酷」という元メジャーリーガーのイチローさんの記事にも書かれていましたが、生徒は、「自分達で律していかなくてはならない」という時代に突入したとおっしゃっておられました。

今の世の中は、本当にハードな時代に突入していると言えます。このような世の中の変革の中で、自衛隊の方々の立ち振る舞いや、上下関係、細部に行き渡るまでに指導が行き届いている姿をみて、今の時代だからこそ必要なことであると感ぜさせられました。このインターシップを通じて、多くのことを生徒に経験させることができました。群馬地方協力本部 高崎地域事務所 広報官の方をはじめ、生徒にたくさんのお話をしてくださり、生徒の進路選択の幅を広げて頂けたことに、改めて感謝申し上げます。短い期間ではありましたが、生徒達の表情からも充実感を感じることができました。また、自衛隊に対しての価値観も変わったと生徒達も話をしておりました。貴重な3日間を丁寧、親切に対応してくださり、ありがとうございました。

自衛隊の皆様のご健康が守られますように心よりお祈り申し上げます。



熊谷基地研修



入間基地研修



朝霞駐屯地隊員食堂で昼食